

(6) 安全・安心の確保の必要性の高まり

① 現在の状況

近年、地震など自然災害等が相次いで発生しており、新型インフルエンザなど新たな感染症の流行の危険性も増しています。

本県は、地震に対する安全性は高い地域とされていますが、安全・安心の確保の観点から、公共施設の耐震化や感染症発生時などにおける危機管理の重要性が増しています。

また、本県でも登下校時の声かけ事案やわいせつ被害等が発生しており、地域社会の結びつきの弱まりが指摘される中で、学校内外における安全・安心に関わる取組みが強く求められています。

② 今後の課題

地域社会の拠点として、学校施設の耐震化などの整備を推進するとともに、感染症発生時などの危機管理体制や地域ぐるみの学校安全体制の整備が課題となっています。